

第31回優良省エネルギー設備顕彰

「よつ葉乳業十勝主管工場」など4件、 顕彰式を盛大に挙げる

冷凍空調設備の第31回優良省エネルギー設備顕彰式が、3月26日、東京・品川区のホテルラフォーレ東京で業界関係者ら多数が出席のもと挙行された。

■ 4設備を顕彰、省エネセンター最優秀賞に

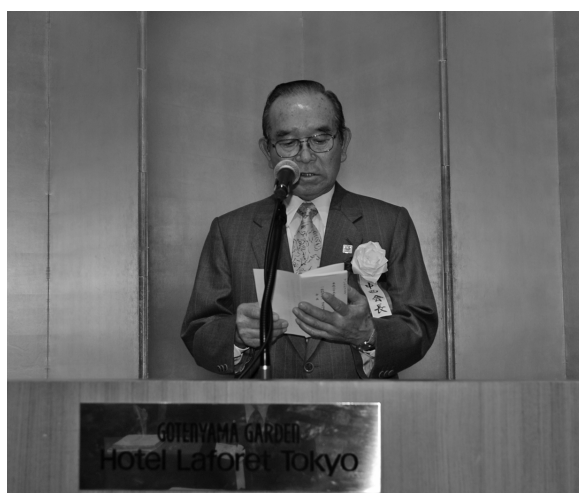
(株)ダイキンアプライドシステムズ

今回の顕彰設備は新設設備部門1件、改修設備部門1件、運転・保守管理部門2件の合計4設備で、うち(財)省エネルギーセンター最優秀賞に、(株)ダイキンアプライドシステムズが施工し、よつ葉乳業(株)十勝主管工場に導入した『極寒冷地における排熱回収を利用した熱回収カスケード型ヒートポンプシステム』が、優秀賞に(株)大林組が施工し、キャノンSタワーに導入した『大規模オフィスビルの中央監視設備、見える化システムによる省エネルギー』、(株)日立製作所が施工し、日土地内幸町ビルに導入した『クラウド型ビルファシリティマネジメントソリューション「BIVALE」』の2件、今回新たに設置した「環境特別賞」に(株)ジェイアール西日本テクノスと(株)東洋製作所が施工し、下関総合車両所新山口支所に導入した『蒸気機関車排煙公害対策用除塵減臭装置』の1件を顕彰した。

この度受賞された設備は、川瀬貴晴千葉大学教授を長とする特別委員会を3月1日に開催、慎重審議のうえ以上の4設備を選出した。

顕彰式は原田光朗・(一財)省エネルギーセンタービル省エネ推進部部長、片倉百樹・(公社)日本冷凍空調学会会長、岸本哲郎・(一社)日本冷凍空調工業会専務理事らが来賓として出席した。

定刻の午後3時30分、司会の南雲誠専務理事が開会を宣し、次いで中西登喜男会長が「当会の優良省エネルギー設備顕彰事業は、皆様のご協力により今年で31回目を迎えることができました。」と



式辞を述べる中西会長

述べ、「今や、省エネルギーの推進やCO₂の削減は、国を上げて取り組むべき課題であることから、我が冷凍空調業界におきましても更に積極的に対応することが重要である。と同時に、我が冷凍空調業界は、お客様への設備改善提案による省エネルギー強化が重要であり、中長期的にみれば、お客様への経営改善、経営支援につながるものと考えている。そして、多くの原子力発電所の運転が止まっている今日、より一層の省エネルギーの推進と環境負荷のない新エネルギーの利用促進、さらに確実なフロン回収、排出削減など環境負荷の低減は、設備産業に携わるわが業界に課せられた重要な使命である。本日ここに顕彰を受けた皆様は、このような環境を十分理解し、困難な条件を克服され、日頃蓄積された技術を駆使され、省エネルギーに尽力されたご功績は多とするものであり、そのご努力に深甚なる敬意を表す



川瀬審査委員長による講評



受賞者代表謝辞 (ダイキンAP武本社長)



最優秀賞の授与 (ダイキンAP武本社長)

るものである。」と式辞を述べた。

次いで、川瀬委員長が審査結果の発表を行い、受賞4設備の省エネルギー技術の特徴について講評を行った。

次に顕彰に移り、はじめに(一財)省エネルギーセンター最優秀賞のよつ葉乳業(株)十勝主管工場に導入した「極寒冷地における排熱回収を利用した熱回収カスケード型ヒートポンプシステム」の施工者、(株)ダイキンアプライドシステムズの武本喜伸取締役社長に顕彰状が、設備所有者のよつ葉乳業(株)の松久浩二取締役生産統括本部長に感謝状が、同センターの原田光朗ビル省エネ推進部部長から贈られた。

また、優秀賞、環境特別賞の施工者には顕彰状、それぞれ設備を導入していただいた設備所有

者には感謝状を中西登喜男日設連会長より記念品と一緒に贈られた。さらに、優秀賞の「キャノンSタワー」の設備所有者のキャノンマーケティングジャパン(株)には、社員一人ひとりの努力による全社挙げての取り組みにより高い省エネ性を実現した功績により、特別に「表彰状」を授与した。

■「更なる省エネで社会貢献を」と受賞者代表謝辞

賞状授与のあと、受賞者を代表して武本喜伸・(株)ダイキンアプライドシステムズ取締役社長から「今回受賞した設備は、一言で言うと排熱回収とヒートポンプを融合させたシステムである。極寒冷地においていかに熱ロスを少なくするか。燃料主体であった温熱を一部ヒートポンプに転換し、いかに高効率に使用していくかなど、お客様の要望は高度なものであった。しかしながら、それらの要望に対し、さらにハイレベルなシステムとしてお応えすることが、当社エンジニアリングにとって必要であり使命だと考え取り組んできた。今後もエネルギー事情が逼迫する中、さらに省エネや節電に取り組むことで社会貢献を継続していきたい。」と受賞の謝辞があった。

■「システムとしての評価が重要」

最後に、来賓を代表して片倉百樹・(公社)日本冷凍空調学会会長より「今回の受賞設備の内容見て、年々着実に内容が変わってきていることを痛感した。熱源機そのものは効率が良くなっているが、システムとして、制御や排熱をうまく使う、



来賓挨拶 ((公社)日本冷凍空調学会・片倉会長)



経済産業省資源エネルギー庁省エネルギー対策課・小池課長補佐による記念講演



乾杯の音頭をとる (一社)日本冷凍空調工業会・岸本専務理事

あるいはそれらを『見える化』するなど格段に年を追う毎に進化している。機器単体ではなく、トータルのシステムとしてどう評価されるかが重要だと思う。日本は技術先進国と言われているが、お客様の要望にひとつひとつ応えていく技術、双方が合意を取れて、その中でカスタマイズされていき、そのカスタマイズされたものがどんどん増えていくということが、日本が持っている技術の進化ということになると思う。日本冷凍空調学会も大学の先生、企業の研究機関の方々や実際に機械を作っているの方々、そのような技術者の方々の力を得ながら省エネ技術の進化に微力ながら貢献させていただいている。そのような意味では、今

回受賞されました皆様には、心からお喜び申し上げます。」と祝辞を述べた。

■「スマートなエネルギー管理で需給調整」と記念講演

引き続き、経済産業省資源エネルギー庁省エネルギー対策課の小池勝則課長補佐による「最近の省エネルギー政策の動向について」と題する記念講演が行われた。

同講演の冒頭で小池課長補佐は、「政権が代わり、改めて『エネルギーの基本政策』の今後の方向性について議論を開始したところである。東日本大震災の前から省エネルギー政策を進めているが、震災後も引き続き進めているが、新たな視点を加えて省エネルギー政策をすすめていくべきではないかというところで、現在、国会に省エネ法の改正案を提出しているところである。」と説明した後、再生可能エネルギー導入拡大に向けた取り組みと合わせて「蓄電池」の戦略的活用によって、電力負荷平準化につなげていくことの施策について説明した。さらに、省エネルギー政策の現状と今後について、省エネ法の動向を踏まえて説明した。そして、話しのまとめとして「いままでのように、需要者の要請によって設備を作ってきたが、いまはそういうわけにはいかない。そのためにもデマンド・レスポンスを通じての需給調整。つまりスマートなエネルギー管理をすることで需給を調整していく。また、再生エネルギーの位置

づけを整理し、需給の調整機能を再生エネルギーにすることで、需給の波を平準化できれば、系統負荷の低減につながる。さらに、一方通行であった供給エネルギーを需要と供給を双方向による需給調整を行う分散型のエネルギー需給構造へ変革させていく。つまり、スマートなエネルギーマネジメントというものがこれからの課題として政策を進めていく」と説明した。

最後に茂木省エネルギー対策課長の伝言として、「製造業には省エネ改善の余地がまだあるのではないか。特に低温廃熱の回収利用を推進していかなければならない。熱の回収による省エネをエネルギー管理とともに進めていこうと考えてい

る。そのための補助金を用意しているので、活用して欲しい。また、他の補助金の資料も添付しているので、活用して欲しい。」と説明し、講演を締めくくった。

■和やかに記念パーティー

顕彰式に引き続き、別室で記念パーティーが開かれた。同パーティーは、中西登喜男・日設連会長あいさつの後、岸本哲郎・(一社)日本冷凍空調工業会専務理事の乾杯の音頭で始まり、受賞者、業界関係者、報道関係者など多数の方々が参加し、和やかに歓談、あちこちで情報交換をする姿が見られ、堤榮助理事の中締めで盛会裡に終了した。

第31回優良省エネルギー設備顕彰受賞者一覧

No.	部 門	設 備 施 工 者	設備所有者〔設備建物名〕	テ ー マ
1	一般財団法人 省エネルギーセンター 最優秀賞 〔新設設備部門〕	株式会社 ダイキンアプライド システムズ (東京都港区)	よつ葉乳業株式会社 〔十勝主管工場〕 (北海道河東郡音更町)	極寒冷地における排熱回収を利用した熱回収カスケード型ヒートポンプシステム
2	一般社団法人 日本冷凍空調設備工業 連合会 会長優秀賞 〔運転・保守管理部門〕	株式会社 大林組 (東京都港区)	キャノンマーケティング ジャパン株式会社 〔キャノンSタワー〕 (東京都港区)	大規模オフィスビルの中央監視設備、見える化システムによる省エネルギー
3	一般社団法人 日本冷凍空調設備工業 連合会 会長優秀賞 〔運転・保守管理部門〕	株式会社 日立製作所 (東京都千代田区)	日本土地建物株式会社 〔日土地内幸町ビル〕 (東京都千代田区)	クラウド型 ビルファシリティマネジメント ソリューション 「BIVALE」
4	一般社団法人 日本冷凍空調設備工業 連合会 会長環境特別賞 〔改修設備部門〕	株式会社 ジェイアール西日本 テクノス (兵庫県尼崎市) 株式会社 東洋製作所 (神奈川県大和市)	西日本旅客鉄道株式会社 〔新山口車両管理センター〕 (山口県山口市)	蒸気機関車排煙公害対策用除塵 減臭装置